



今号の主な内容

- ルールを守って明るい選挙を … 2面
- 「福生名物名産コンテスト」 … 3面
- 「健康ふっさ21」を策定 … 5面
- 図書館初夏のおたのしみ会 … 6面
- 多摩川カップまつり … 7面
- 市民活動促進補助金交付団体決定 … 8面

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課 〒197-8501 福生市本町5 ☎042-551-1511 (市役所代表)

福生市のホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

市役所は8月5日(土)は七夕まつり期間中のため閉庁します。問合せ企画調整課企画調整担当



私たちの目指す福生市の景観

基本的な考え方

- ◆福生市の多様な魅力を残し活かす『自然・歴史』 福生市の伝統的な良さを残すとともに、再認識し、更に磨きをかけていきます。
- ◆福生市に新しい魅力をつくり育てる『住環境・商店街』 今あるものに手を加えるだけでなく、利便性や機能面も考えつつ、新たに魅力をつくっていきます。
- ◆福生市民全体で盛り上げていく『市民参加・協働』 子どもたちも含め、市民全体が景観に対する理解を深めるために、啓発活動を行います。

観基本計画」を策定しました。

景観は、毎日の生活から創り出されたものであり、次世代へ引き継ぐ貴重な財産として、皆さんと協働しながら福生を創っていきたく考えていますので、今後も皆さんからのご提案、ご意見をお願いします。

基本計画の内容につきましては、市のホームページまたは、本庁舎2階情報コーナー、中央図書館、第四庁舎2階都市計画課でご覧いただけます。

問合せ都市計画課都市計画担当



「みんなが外に出て歩きたくなる福生にしよう」— 福生人づくり—

平成16年6月から28名の委員による「福生まちづくり景観会議」を発足し、この中で検討いただき、このたび「福生市まちづくり景観基本計画」を策定しました。

福生市まちづくり景観基本計画がまとまりました

将来のすがた

みんなが外に出て歩きたくなる福生にしよう—「福生人」—づくり景観づくりの8つの方針

- ①多摩川、玉川上水などの「水」を軸とした景観づくり
- ②福生市の歴史や文化を尊重した景観づくり
- ③くらしを大切に景観づくり
- ④個性豊かな、にぎわいを生む景観づくり
- ⑤広い空を感じられる景観づくり
- ⑥自然や環境と共生できる景観づくり
- ⑦景観と学習・教育の連携
- ⑧譲り合いのできる人づくり

景観形成の枠組み

- ①「拠点」と「軸」
- ②「景観資源」
- ③それらをつなぐ



計画の目的

市民・事業者・行政が共有する、「福生市の景観づくりの将来像」を示す計画です。

福生市の景観を守り、つくり、育てるための施策を長期的、総合的、体系的に推進するための「道しるべ」となるものです。

計画の対象とする区域は、福生市全域です。

「景観」ってどんなもの？

「景観」とは私たちの生活の一部が形となって表れたものです。「景観」は、私たちの共有財産です。

また、景観は子どもたちの感性や情緒にも大きな影響があると考えられます。

水や緑などで構成される自然の景色・建物などの人工物だけでなく、動植物や人々の営みまでを含めて景観を考えていきます。

市内には、75か所の公園等があり、市民一人当たり約6・4平方メートルで、これは国や都の大きな公園のない市の中では大変高い率です。

このうち、法律で定める都市公園に当たるものは51公園です。そのなかで1万平方メートル(3千坪)以上の公園は、最新の「原ヶ谷戸どんぐり公園」を含めて11か所あります。

多摩川沿いには、上流から「加美上水公園」「かに坂公園」「柳山公園」「多摩川中央公園」「南公園」の5つがあります。

多摩川は、都市下水路の廃止によって玉川上水の水と同じ水質(羽村堰上流と同じ)になり、今きれいな水が流れています。

福生十景のひとつ、新堀橋付近の雑木林や柳山の樺、中央公園の福生分水南公園の熊川分水などは、さまざまな景観を四季折々にかもし出しています。

これから暑い夏を迎えますが、子どもを連れて、近くにある自然との接触をしてみませんか。

きっと新しい福生の魅力と、感動の体験を子どもにも経験させることができるでしょう。(広報係でガイドマップFUSSAを配布しています)

きんもくせい

公園

福生市長野澤久人

6月4日環境フェスティバルにて